

②未来を見つめ ③支え合い、磨き合い ④共に高まる 美里っ子

学校報

みさと

令和6年11月26日

男鹿市立
美里小学校

文責：校長 櫻庭直美

11月2日に、ご来賓の皆様、保護者・ご家族の皆様をたくさんお迎えし、本校の学習発表会「美里っ子フェスティバル」を体育館で行いました。当日を迎えるまでには、季節の変わり目で急に寒くなったせいか、体調を崩して学校を欠席する子どももおり、心配しましたが、当日は全員が晴れやかな表情でステージに立つことができました。

次に、当日のプログラムに沿って、発表の様子をお伝えします。

○はじめのあいさつ（1年生）



7人の1年生が小太鼓のリズムに合わせて、小さな体からは想像できないほど、体育館に声を響かせました。これからのプログラムが楽しみになる、明るいオープニングとなりました。

○〔表現〕「Admire～9人の光を集めて～」（5年生）

※ Admire：称賛する、敬う、認める

5年生になってからの出来事や思いを、オリジナルの詩の言葉にのせて発表しました。少ない人数ながら各パートに分かれての合唱とリコーダーの演奏は、聴く人の心に響くものでした。

○〔劇〕「かさこじぞう」（2・3年生）

昔話の「かさこじぞう」に地域で学習した内容や地域に伝わるお話を加えるなど、学びと笑いのある秋田弁の劇でした。最後に披露したサンバのダンスで、会場は大変盛り上がりしました。

○〔劇〕「おおきなかぶ」（1年生）

絵本から飛び出てきたように、一人一人が登場する人や動物、かぶになりきって演じました。長いセリフも暗記し、みんなで力を合わせる様子にも、4月からの成長が感じられました。

○〔音楽・体育〕「ニュース4年生」（4年生）

まるでニュース番組が進行するように、4年生になってできるようになったことや学級生活の様子を発表しました。様々な面での成長が感じられ、4年生の元気なよさが伝わりました。

○〔劇〕「ゴ・ミーゴ!」（6年生）

大道具や衣装も手づくりし、一人でいくつもの役をこなすなど、最高学年にふさわしいがんばりでした。地球環境を自分たちが守っていくことの決意が伝わるパフォーマンスでした。

○全校合唱「Believe（ビリーヴ）」

57人全員の明るい歌声が響きました。これまでで一番の歌声であったと思います。

○おわりのあいさつ（6年生代表）

6年生にとっては最後となる「美里っ子フェスティバル」。その思いを込め、これからのつながる、とても引き締まったすばらしいあいさつでした。

「美里っ子フェスティバル」の準備や発表を通して、子どもたちが成長し、その成長の様子をご参観の皆様にお伝えすることができればと考えておりました。これを一つの節目として、これからも教育活動の充実を図っていきたいと考えます。

「空高く飛べ」という願いを込めて



福米沢ご出身の中田〇〇様が、男鹿市教育委員会を通じて、ライトプレーン（模型飛行機）の製作キットを全校児童にお贈りくださいました。11月8日には中田様が学校に来てくださり、市教育委員会の職員の方と一緒に5・6年生に作り方を教えてくださいました。組み立てた飛行機は、早速、体育館で初フライト。思い通りに飛ぶものもあれば、そうでないものも…。しかし、手づくりのよさは自分で調整できるということ。うまく飛ぶにはどうすればよいか、飛行機本体や飛ばし方について試行錯誤する姿が見られました。子どもたちにとって創造力がかき立てられる、楽しい経験となりました。ご寄贈に心より感謝申し上げます。

